

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311051000594
施設名	BunBu学院Jr.中目黒園
施設所在地	東京都目黒区青葉台1-15-14
法人名	株式会社BunBuKids

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日本の伝統行事である「もちつき」を体験することで、季節の文化や食への関心を深めることを目的に実施した。普段食べているお餅がどのように作られるのかを知り、実際に見て・触れて・音を聞き・香りを感じるなど、五感を使った体験を通して興味や探究心を育む機会とした。また、地域の文化に親しみ、日本の伝統を次世代へ伝えていくこともねらいとして設定した。

2. 活動スケジュール

もちつきについての話（道具や作り方の説明）

蒸しあがったもち米の観察・香りを感じる

保育者や地域の協力者によるもちつきの実演

子どもたちが順番に杵を持ち、もちつきを体験

つきたてのお餅の変化を観察

お餅を味わいながら振り返りを行う（安全面・アレルギー等に十分配慮）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

園にある調理士と相談し、臼、杵、蒸し器、もち米を準備し、安全に体験できるよう十分なスペースを確保した。

子どもたちがもちつきの様子を見やすい位置に集まり、順番に体験できるよう動線を工夫した。また、実際にもち米や完成したお餅に触れられる機会を設け、変化を感じられる環境を整えた。活動前には道具の使い方や約束事を伝え、安全に参加できるよう配慮した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

最初に蒸したもち米を見たり触れたりし、「ご飯みたい」「いいにおいがする」と興味を示していた子どもたち。実際に杵でつく様子を見ると、「だんだん伸びてきた」「白くなった」と、もち米が変化していく様子をじっくり観察していた。

実際に杵を持つと、「重たい!」「もっとやりたい!」と夢中になって取り組み、友達を「よいしょ!」と応援する姿も見られた。もち米からお餅へと変化する様子を体験することで、「どうしてお餅になるの?」「さっきはつぶつぶだったのに!」など、不思議に思ったことを保育者や友達と話し合う姿が見られ、自然な探究活動へとつながった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

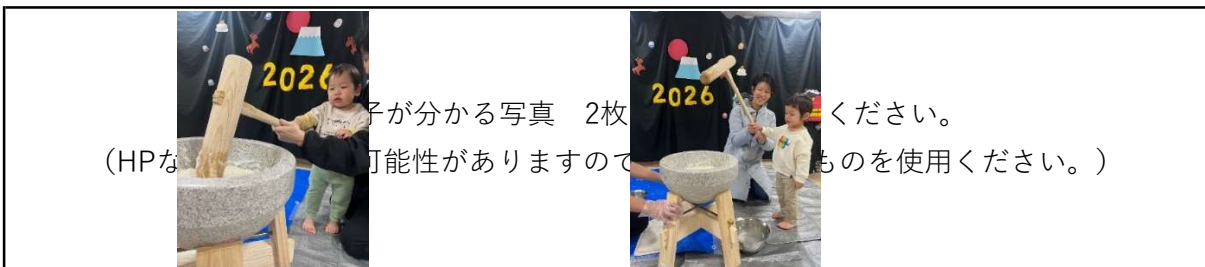
「お米がお餅になってる!」

「いいにおいがする!」

「杵ってこんなに重いんだね。」

「がんばれー! よいしょ! よいしょ!」

友達がもちつきをする姿を応援したり、外国人の保護者は大変よろこび、写真を撮ったり、順番を譲り合ったりする姿が見られた。また、「どうして柔らかくなるのかな?」という子どもの疑問に対し、保育者が一緒に考えたり説明したりすることで、興味をさらに深めることができた。活動後も「お家でもやってみたい」「おじいちゃんのお家でもやったことあるよ」と経験を共有する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

実際に見て、触れて、体験することで、子どもたちはもち米がお餅へと変化する過程に強い関心を持ち、多くの気づきや疑問を言葉にしていた。日本の伝統文化を体験するだけでなく、食への興味や素材の変化への気づき、友達と協力しながら活動する楽しさも感じる事ができた。今後も本物に触れる体験を大切に、子どもたちの「なぜ?」「やってみたい」という気持ちを引き出す活動を継続していきたい。